



2025湖っ子食育大賞

大賞は、守山市守山中学校に決定！

滋賀県教育委員会では、児童生徒が正しい食事のとり方や望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校を中心に家庭・地域とも連携した食育を推進しています。

平成19年度に学校や園の特色を生かした優秀な食育の取組を表彰する「湖っ子食育大賞」が創設され、令和7年度は19年目となり、県内の学校から10校の応募がありました。審査の結果、大賞は守山市立守山中学校に決定しました。

～受賞校の概要～

大賞 守山市立守山中学校

「食で育てる心豊かでたくましい人～食を楽しもう～」をテーマに取り組みされました。

総合的な学習の時間では、SDGsの視点を取り入れ、身近な給食を題材として残食削減をめざす授業を実施しています。食に関する指導は総合的な学習の時間にとどまらず、給食の時間や各教科においても計画的に行われています。

ICTを効果的に活用しながら生徒たちの興味・関心を引き出す授業を展開し、「心豊かでたくましい人」の育成という明確な目標のもと、多面的な食育活動に取り組んでいます。また、食に関する健康上の課題を抱える生徒に対しては、個別相談による丁寧な指導も行われています。こうした取組全体を通じて、食の大切さや感謝の心、食べることの楽しさを学び、自分自身で適切な食の選択ができる子どもたちを育てる食育を、学校全体で力を合わせて推進しています。



ICTを活用した食育授業



毎月の掲示版

優秀賞 甲賀市立雲井小学校

「食べることは、生きること ころろとからだの健康のために食育を」

をテーマに取り組みされました。

栄養教諭が在籍していない学校ですが、教職員全体で課題や目標を共有し、年間を通じて体系的な食に関する指導が行われています。児童健康委員会では、「歯と口」「食」「メディア」「生活リズム」をテーマに多様な活動を展開し、全校児童の健康意識の向上に取り組んでいます。また、健康的な食習慣を身につけるため、家庭と連携した「メディア・コントロール」の取組を通じて、生活習慣の改善にも取り組んでいます。この取組は7年間にわたり継続されており、その内容も着実に深化しています。

優秀賞 大津市立真野中学校

「目で見える食育の取組」をテーマに取り組みました。

ICT を活用し、「目で見てわかる」食育に積極的に取り組んでいます。その一つとして、「ベジチェック」の体験を通じて、子どもたちの野菜摂取量を数値でわかりやすく示す取組を行っています。自分の野菜摂取量を目で見て確認することで、子どもたちが食生活を振り返るきっかけとなり、野菜を積極的に食べようとする意識づけにつながっています。また、給食の時間には生産者の方からのメッセージ動画を視聴し、農家の方の顔や声を身近に感じられる工夫をしています。普段の食卓に届くまでに、多くの方々の手と思いが込められていることを、子どもたちが実感を持って学べる機会となっています。

優秀賞 草津市立玉川中学校

「玉川中学校全体で取り組む食育」をテーマに取り組みました。

総合的な学習の時間である「つながり学習」では、生徒たちの「学びたい」という意欲を大切にしながら、食育の授業を展開しています。委員会活動におけるフードロスの取組では、前年度の活動をさらにブラッシュアップし、より充実した内容で取り組んでいます。また、食に関する知識の習得につなげるため、「えいようだより」を定期的に発信し、生徒たちへの継続的な情報提供にも努めています。

こうした取組を通じて、食への興味・関心を高めるとともに、生涯にわたって健康な生活を送るための力を育む食育を、学校全体で推進しています。

優秀賞 草津市立新堂中学校

「もりもりごはん 食べ残しなしプロジェクト」をテーマに取り組みました。

生徒会保健委員会が中心となり、アレルギーに関係なく全校生徒で取り組める「主食の白ご飯」の残食削減をめざして、学校全体で課題意識を高める食育活動を推進しています。白ご飯の残食量を計量し、数値で成果を客観的に評価するとともに、白ご飯に合うメニュー開発や給食センター職員の皆さんへの感謝メッセージ作成にも取り組んだ結果、主食の残食量の減少につながっています。

さらに、地元の農家の方々が心を込めて育ててくださった草津市産のお米を大切にいただくことを全校で共有することで、食への感謝の心や、調理してくださる方への思いやり、学級の仲間を気遣う言動が見られるようになりました。

食育大賞および優秀賞を受賞した5校には、公益財団法人滋賀県学校給食会より副賞が贈られました。